

# 製品安全データシート

作成:2014年2月18日

改訂:2023年9月21日

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : 理研ダコグリーン顆粒水和剤  
会社名 : 株式会社理研グリーン  
住所 : 東京都台東区東上野四丁目8番1号  
担当部門 : 開発部企画開発課  
電話番号 : 03-6802-8587  
FAX番号 : 03-6802-8303  
緊急連絡先 : 同上  
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬(殺菌剤)

## 2. 危険有害性の分類

### GHS分類

物理化学的危険性  
爆発物 : 区分に該当しない  
可燃性ガス : 区分に該当しない  
エアゾール : 区分に該当しない  
酸化性ガス : 区分に該当しない  
高压ガス : 区分に該当しない  
引火性液体 : 区分に該当しない  
可燃性固体 : 分類できない  
自己反応性化学品 : 区分に該当しない  
自然発火性液体 : 区分に該当しない  
自然発火性固体 : 区分に該当しない  
自己発熱性化学品 : 分類できない  
水反応可燃性化学品 : 区分に該当しない  
酸化性液体 : 区分に該当しない  
酸化性固体 : 分類できない  
有機過酸化物 : 区分に該当しない  
金属腐食性化学品 : 分類できない  
純性化爆発物 : 区分に該当しない  
健康に対する有害性  
急性毒性(経口) : 区分4  
急性毒性(経皮) : 区分に該当しない  
急性毒性(吸入:気体) : 区分に該当しない  
急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない  
急性毒性(吸入:粉じん) : 区分3  
急性毒性(吸入:ミスト) : 区分に該当しない  
皮膚腐食性/刺激性 : 区分2  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1  
呼吸器感作性 : 分類できない  
皮膚感作性 : 区分1  
生殖細胞変異原性 : 区分1B  
発がん性 : 区分2  
生殖毒性 : 区分2  
特定標の臓器毒性(単回ばく露) : 区分1(神経系)  
特定標の臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(甲状腺、肝臓)  
 : 区分2(神経系)  
誤えん有害性 : 分類できない  
環境に対する有害性  
水生環境有害性 短期(急性) : 区分1

水生環境有害性 長期(慢性)

: 区分1

オゾン層への有害性

: 分類できない

GHSラベル要素  
絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・飲み込むと有害
- ・吸入すると有害
- ・皮膚刺激
- ・重篤な眼の損傷
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・遺伝子疾患のおそれ
- ・発がんのおそれの疑い
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・神経系の障害
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による甲状腺および肝臓の障害
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による神経系の障害のおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱い説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・粉塵/煙/蒸気を吸入しないこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取り扱い後、手、顔、眼を良く洗うこと。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・必要な時以外は、環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡し、医師の診断/手当てを受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合: 気分が悪いときは、医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・施錠して保管すること。

## 【廃棄】

- ・内容物、容器を法、条例に従って廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名: テトラクロロイソフタロニトリル/ビス(ジメチルチオカルバモイル)ジスルフィド/混合物

成分及び含有量: TPN(クロロタロニル) 50.0%  
チウラム(テトラメチルチウラムジスルフィド) 30.0%  
<その他> 鉱物質微粉・界面活性剤等 20.0%

化学式:  $C_8Cl_4N_2$ /TPN  
 $C_6H_{12}N_2S_4$ /チウラム

官報公示整理番号:	化審法	3-1805	TPN
		2-1820	チウラム
	安衛法	4-(7)-539	TPN
		2-(5)-87	チウラム

安衛法 表示・通知対象物質、変異原性が認められた既存化学物質: チウラム

CAS No.:	1897-45-6	TPN
	137-26-8	チウラム

### 4. 応急措置

吸入した場合: 被災者を新鮮な空気の場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察/手当を受けること。

汚染した衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合: 水で数分注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。直ちに眼科医に連絡すること。

この製品が眼に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な眼の損傷を生ずるおそれがある。

飲み込んだ場合: 口をすすぎ、無理に吐かせない。気分が悪いときは、医師に連絡すること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤: 霧状水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡沫消火剤等

使ってはならない消火剤: データなし

火災時の特有の危険有害性: 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素等が含まれる。

特有の消火方法: 消火のための放水により、消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な措置を行うこと。

作業活動を行う者の特別な保護具及び予防措置: 適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用し、風上から消火活動を行うこと。

消火活動上の注意: 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移すこと。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 漏出時の処理作業には、保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣等を着用すること。粉じんを吸入しない。

環境に対する注意事項: 漏出した物質が河川、湖沼、海域等に飛散、流入しないように注意すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収すること。

二次災害の防止策: 付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。

### 7. 取り扱い及び保管上の注意

## 取扱い

技術的対策:設備の密閉化、局所排気装置や全体の換気設備を設けること。

安全取扱い注意事項:容器の破損や容器からの漏洩に注意すること。みだりに粉じんを発生させないこと。

接触回避:情報なし

衛生対策:吸い込んだり、皮膚や眼に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業すること。取扱い後は、手、顔、眼等を良く洗い、うがいをすること。

## 保管

安全な保管条件:容器を密閉し、適当な換気のある乾燥した冷暗所に、施錠して保管すること。

飲食品や飼料と区別して保管すること。

詳細は製品のラベルに従うこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度:未設定

許容濃度:日本産業衛生学会(2013年版)チウラム 0.1mg/m<sup>3</sup>

ACGIH(TLV-TWA)(2013年版)チウラム 0.05mg/m<sup>3</sup>

設備対策:粉じんが作業場の空気を汚染しないように、設備の密閉化、局所排気装置の設置・使用、又は全体の換気を適切に行うこと。

取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置すること。

保護具

呼吸用保護具:防じんマスク又は簡易防じんマスク

手の保護具:ゴム手袋

眼、顔面の保護具:側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具:保護服(長袖、長ズボン)、保護長靴

特別な注意事項:この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

## 9. 物理・化学的性質

物理状態	: 水和性細粒
色	: 類白色
臭い	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
pH	: 7.9(20.0g/80ml 水溶液)
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 0.86(見かけ比重)
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常取り扱いにおいて反応性なし
化学的安定性	: 通常取り扱い条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常取り扱い条件下では特記すべき反応性なし。
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 燃焼ガスには一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素等が含まれる。

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット(♂) LD <sub>50</sub> >300mg/kg、≤2,000mg/kg 区分4
急性毒性(経皮)	: ラット(♂ ♀) LD <sub>50</sub> >2,000mg/kg 区分に該当しない
急性毒性(吸入)	: 成分データの計算値から区分3
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギ 刺激性あり 区分2
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: ウサギ 刺激性あり、250倍希釈液は実質的に刺激性なし 区分1

呼吸器感作性	: データなし 分類できない
皮膚感作性	: モルモット 陽性 区分1
生殖細胞変異原性	: 区分1Bに該当する成分を0.1%以上含有する 区分1B
発がん性	: 区分2に該当する成分を1.0%以上含有する 区分2 (TPNは変異原性なし。閾値あり)
生殖毒性	: 区分2に該当する成分を3.0%以上含有する 区分2 (TPNはラット催奇性試験で、親動物に有意な体重増加抑制がある用量において、初期胚死亡の増加(有意差なし)が見られている)
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 区分1(神経系)に該当する成分を10%以上含有 区分1
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 区分1(甲状腺及び肝臓)及び区分2(神経系)に該当する成分を10%以上含有 区分1及び区分2
誤えん有害性	: データなし 分類できない

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性 魚類	: (コイ)LC <sub>50</sub>	0.15 mg/l (96時間)
甲殻類	: (オオミジンコ)EC <sub>50</sub>	0.044 mg/l (48時間)
藻類	: (緑藻)ErC <sub>50</sub>	0.23 mg/l (72時間)
	NOECr	0.01 mg/l

上記の結果から水生環境有害性 短期(急性)を区分1とした。また、以上の結果及び速やかに分解するというデータがないことから、水泳環境有害性 長期(慢性)についても区分1とした

残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし 分類できない

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
空容器、空袋、汚染容器等	: 内容物を完全に除去し、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。

これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た産業廃棄物業者に委託すること。

## 1 4. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: UN 2811
品名(国連輸送名)	: その他の毒物(有機物)(固体)、他に品名が明示されていないもの(クロロタロニル、チウラム混合物)
国連分類	: クラス 6.1
容器等級	: II
海上輸送	: IMO/IMDGの規定に従う。
航空輸送	: IATA/ICAOの規定に従う。
海洋汚染物質	: 該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 荷役作業は丁寧に行い、転倒、転落、引きずり等により容器に衝撃を加えたり、水濡れや破損させたりしないように注意する。
国内規制	
陸上輸送	: 規制されていない。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
応急措置指針番号	: 154

## 1 5. 適用法令

農薬取締法	: 農薬登録番号 第23061号
-------	------------------

消防法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物 テトラメチルチウラムジスルフィド 変異原性が認められた既存化学物質 テトラメチルチウラムジスルフィド 粉じん障害予防規則(但し、該当する粉じん作業がある場合)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 第1種指定化学物質 テトラクロロイソニロニトリル(管理番号260) 第1種指定化学物質 テトラメチルチウラムジスルフィド(管理番号268)
じん肺法	: じん肺法施行規則(但し、該当する粉じん作業がある場合)
作業環境測定法	: (但し、該当する粉じん作業がある場合)
毒物及び劇物取締法	: 毒物・劇物に該当しない
化審法	: 一般化学物質(旧第二種・第三種監視化学物質) TPN 一般化学物質(旧第二種・第三種監視化学物質) チウラム
水質汚濁防止法	: 指定物質 事故時の措置・報告対象 TPN 有害物質 チウラム
土壌汚染防止法	: 特定有害物質 チウラム
下水道法	: 水質基準物質 チウラム
廃掃法	: 特別管理産業廃棄物 チウラム
船舶安全法	: その他の毒物(有機物)(固体)(他の危険性を有しないもの) 等級6.1 及び 環境有害物質(固体)有害性物質 等級9
航空法	: 毒物類 毒物 分類番号6 区分番号6.1 及び その他の有害物 分類番号9
海洋汚染防止法	: 海洋汚染物質 チウラム

#### 16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1)クロロタロニル原体 安全性データシート (株)エス・ディー・エス バイオテック  
2)TMTD 安全データシート 大内新興化学工業(株)